

### 令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	玉川山田どじょうプロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	玉川山田どじょうプロジェクト 茅野市玉川 8448-1
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業 (5) 安全、安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	783,180 円 (うち支援金: 570,000 円)

#### 事業内容

☆重点テーマである 2050 ゼロカーボンにむけた取り組みの推進 — に基き、

『堰水力を活かした水力発電の勉強会及び、水力発電による街灯の整備』に関わる事業を中心に据えて、ソフト&ハードの両面から事業を推進した。

- ① 日本で唯一の水力発電装置キット「ピコピカ10」を、地元小中学校の児童生徒が組立て、自らの手で設置し街灯を点灯させた。
- ② 江戸時代に先人の手によって整備された『大河原堰』を実地踏査し、発電所も含むその重要性を体験した。
- ③ 支援金により令和3年度に整備した『どじょうハウス阿弥陀亭』の活用内容の充実に取り組んだ。

#### 事業効果

- ① 支援金の活用により、日本で唯一の水力発電装置キット『ピコピカ10』を3台購入・組立・設置・街灯点灯までを、小中学校で行うことができ、画期的な取り組みとして評価され、携わった児童生徒のみならず内外より高い評価を得ることができた。
- ② 江戸時代に整備された『堰による水の恵み』の有難さを、実際の踏査により『農業および電力』の両面で地域を支えていることを体感することができた。
- ③ 支援金により令和3年に整備した『どじょうハウス阿弥陀亭』の事業内容を充実させ、地域の活動拠点としての総参加者数 214 名と認知・役割を高めることができた。

#### 今後の取り組み

- ① 支援金の活用により設置した水力発電装置『ピコピカ10』を、地元と小中学校において適切に管理・活用していく体制を整えてプロジェクトがサポートしていきたい。
- ② 地域住民より、更に規模の大きな小水力発電の可能性を示唆する声があることから、関係各所の協力を得て、設置に向けた調査・研究を進めていきたい。
- ② 安心安全な水と土壌に支えられてこそ『どじょうの生育』について、長野県水産試験場の協力を得たセミナーを開催できたことにより、玉川小学校児童の関心が高まっている。今後は、『地元で採取したどじょうのDNA鑑定』を長野県水産試験場に依頼し、どじょうの品種分布などを解明して、生態研究に取り組むことが決定している。



【玉川小学校・ピコ水力発電】



#### 【目標・ねらい】

- ① 堰水力を活用した水力発電
- ② 堰自体の重要性の体験と学び
- ③ どじょうの生育に関わる取組
- ④ 阿弥陀亭の活用内容の充実

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

・ソフト事業の『よらざあ事業』と『大河原堰体験』『水資源・土壌の学び』は、ハード事業である『小水力発電事業』と、絶妙にマッチングし、相乗効果による事業の一体感を創出する事ができた。